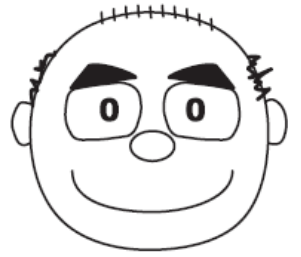


# すくすく



NO.54 平成26年1月1日発行

あけまして

おめでとーございます

今年の4月で満16年を迎えます。子ども達にとって、皆様方にとって良い年になることをお祈りしております。

院長・スタッフ一同

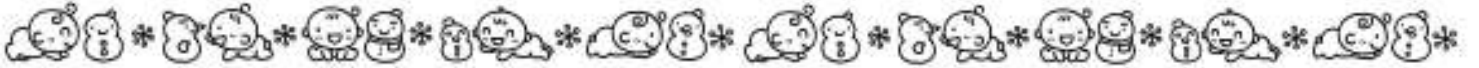
## 発達はずいものの願いからはじまる

我が子の子育ての時は、仕事の忙しさにかまけて子どもと接する機会がとてもしなかつたことを、今になって反省したり勿体なかつたと思ったりしています。今は、近くに住んでいる二人の孫達と時々会う機会に恵まれています。彼らの成長ぶりには驚かされます。今号は発達についてのお話です。

子ども達は、小さければ小さいほど未体験のことや知らないことが多いので好奇心旺盛です。好奇心が原動力になって沢山のことを学びながら成長します。新しいことにチャレンジして失敗しながらも沢山のことを学び、願いを実現していきます。発達はずいものの願いから始まります。「○○ができるようになってほしい」と願うからこそ、今は可能性でしかない願いが、やがて現実そのものになっていきます。

## 発達とは矛盾を乗り越えていくこと

1～3歳頃には、「○○ができるようになりたい」と願っても、まだ、自分の力ではできないことが沢山あるので、できない自分にイライラし、かんしゃくを起こすことが多



くなります。この発達への願いと現実とのギャップが矛盾です。子どもは悩みながらこの矛盾に何度も立ち向かい、いずれ乗り越えて願いを達成していきます。矛盾が発達の原動力になるのです。心の中の矛盾を乗り越えることによって「自分もまんざら捨てたものではない」という自分への信頼が生まれてきます。その信頼が、「もっと新しいことに挑戦したい」という願いを育て、新しい自分を築くための心のバネになります。

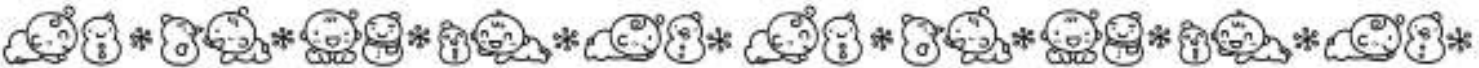
## 子どもの願いと親の願い

子どもの「○○がしたい」という願いを受け止め実現するよう助けることが大切ですが、「子どもに△△をさせたい」という大人の願いを実現していく営みが、しつこくであり保育や教育だと思えます。しかし、子どもの願いと親の願いは、必ずしも一致するわけではなく、対立することがよくあります。子どもは「今」が大事、大人は、どちらかというと子どもの「今」よりも将来の方を大事にする傾向があるからだと思います。

子どもの願いや「今」が大事という気持ちを理解しながらも、気を長く持ち、しつけていきましょう。

## 子どもの時間

子どもの遊び方を見てみると、同じことを飽きもせず何度も何度も繰り返



返し続けることにはうんざりすることがあります。同じことを何度もすることにも意味があるのでしよう。今を精一杯楽しむという子どもの「今」を大切にすることが、未来の子どもへの豊かさを大切にするにつながります。子どもは必要なだけその活動を続けますが、その時間は子どもによって異なります。時間には、「時計で計れる客観的な時間」と子どもの中にある「時計では計れない主観的な時間」があります。子どもの「今」が、子ども自身が考えられないような「将来」のためだけに使われてはいけません。

子どもにとって必要な時間を、不必要なこととして無理矢理取り上げたり、別の事をさせようとしたりすると失敗します。子どもの中にある時計は一人ひとり違ってはいるのですから。  
参考図書・子どものねがい子どものおやみ (白石正久、クリエイティブかもがわ)



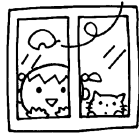
人は、自分にとって最高の瞬間を更新するために生きているのかもしれない。あるいは、人はそれぞれ最高の瞬間があって、その日の記憶を明かりや杖として、困難な人生を生き抜くのもしれない。

(はらだみずき ぼくの最高の日)



ココロ・ココロ

～こころ と からだ～



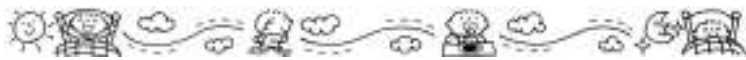
### 感情とことば

赤ちゃんは泣いて自分の気持ちを訴え、そしてきちんと応えてもらうことで、『お腹がすいた！』などの身体的な不快感と快感の違いを感じとり、安心感を獲得していきます。こうした赤ちゃん時代の『快不快の感情』がしっかり育っていると、その後の様々な感情が豊かに育っていきます。

ではどんな感情のことばがあるのでしょうか？うれしい、たのしい、かなしい、くやしい、つらい、くるしい、はずかしい…どのくらい浮かびましたか？

こうした感情を表すことばはたくさんありますが、私達大人はついついネガティブなことばや気持ちを“いけないこと”のように避けてしまうことがあります。でも本来気持ちには良いも悪いもないはずです。子ども達はネガティブな気持ちをことばで表現することで、自分の気持ちを理解しコントロールすることができるようになります。私たち大人が「～な気持ちだったんだね」とその子の感情に正しいことばをつけ認めてあげることで、子どもの感情が豊かに育つことでしょう。

(つばき)



## 病児保育室「ここいえ」通信

4月に「ここいえ」を開設し、8ヶ月が経ちました。

毎月100人前後の子どもたちにご利用いただいています。寒さの影響からか、11月以降は利用される方がより増えてきました。最近、上気道炎に加え、胃腸炎、アデノウイルス・溶連菌感染症が多くみられています。

これからは、インフルエンザのシーズンに入ります。

「ここいえ」ではインフルエンザ罹患による熱発初日を0日目とし、2日目からお預かりできます。

元気が一番の子ども達ですが、もしもの時にはお気軽にご利用ください。スタッフ一同、お母さんの代わりになって精一杯保育させていただきます。

### ここいへの予約時間

原則として前日の予約をお願いします。

#### 前日予約

月～金 7:00～20:00

日・祝 18:00～20:00

#### 当日利用の予約

月～土 7:00～

TEL 250-9876



### 編集後記

年末に良い本に出会いました。

その本の中の一部に「子どもには綺麗な思いを届けたいものです。本来持っているものが現れるようにほこりを払ってあげましょう。」とありました。ほこりとは大人のもつ、人を疑ったり物事を悪いほうに考えてしまう心の働きということだそうです。

その思いを届けられるように今年もまた、一年、頑張りたいと思います。 M, びるるん♪

## 子どもの心と体の健康相談のご案内 (発達支援室ベースキャンプ)

小児科医と作業療法士や理学療法士、臨床心理士が連携して子ども達とご家族の相談にのり支援する場です。

作業療法士や理学療法士が運動訓練・感覚統合・ソーシャルスキルトレーニングなどを行います。また臨床心理士が発達検査やカウンセリング、プレイセラピーを行います。

ご家庭・保育園・幼稚園・学校の先生方との連携の場になればと思います。

### 対象

- ① ことば・運動発達・行動・対人関係などが気になる子ども達
- ② LD(学習障害)・ADHD(注意欠陥・多動性障害)・自閉症・脳性麻痺・不登校・心身症などの子ども達とご家族

※ 月・水・金の予約制です。

受付までお電話をお願いします。

### おすすめの絵本

『おしりをしりたい』

作 鈴木のりたけ



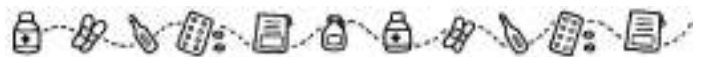
表紙一面に、ど～んと大きなおしりの絵。「おしりはどうしてプリプリしているの?」「そもそも、おしりってどこからどこまで?」ことわざに、だじゃれ・・・いろいろなおしり。おしり豆知識でいっぱいのお絵本です。

### 栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時から16時まで

1月 8日(水)	2月12日(水)	3月12日(水)
1月15日(水)	2月19日(水)	3月19日(水)
1月29日(水)	2月25日(火)	3月25日(火)



### 院長不在日 学会・講演・会議のため不在です

1月 6日(月) 16:00～不在

1月 7日(火) 終日不在

### 夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場 所 下関市大学町2丁目(市大近く)

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2-28-20

083-252-2112

HPURL <http://members.jcom.home.ne.jp/2814964811/>